

社協の事業
心配ごと相談

家庭内の心配ごと、結婚、離婚、金銭トラブル、財産問題、土地問題等、日常生活で悩んでいることの相談に専門の相談員が応じます。

開設日 毎週水曜日
開設時間 午前9時～正午
開設場所 飯山市総合福祉センター
毎月20日には、午前9時～午後3時まで相談に応じます。
午後は弁護士による法律相談もあります。

見守りとうど衆研修会

～みんなが元気になるために 自分ができること、
みんなのできること～



研修会(会場 老人福祉センター湯の入荘)

平成18年度の見守りとうど衆研修会が2月17日、20日、27日の3回、開催されました。

今年、「みんなが元気になるために、自分ができること、みんなのできること」というテーマで、講演会と講師を囲んでの懇談会を開催しました。

この研修会は、市内全域に、ほぼ10世帯に1人づつ「見守りとうど衆」として会長から委嘱されている方々に、その役割を知っていただくこと。また、そこに住んでいる者同士が日常生活の中で、お互いに助け合い、支援が必要な人を見守るネットワークを作ることとを目的に、飯山市からの補助を受けて実施しています。

見守りとうど衆には、市内全域の隣組長、飯山市老人クラブ会員、更生保護女性会会員、ボランティア、

民生委員経験者等に登録していただいています。

1回目講演内容

期日 2月17日(土)
会場 老人福祉センター
講師 石田正人飯山市長
参加者 100名

2回目講演内容

期日 2月20日(火)
会場 富倉地区活性化センター
講師 池田玲子さん
参加者 30名

3回目講演内容

期日 2月27日(火)
会場 岡山区活性化センター
講師 岡田玲子さん
参加者 40名

「ひとりでは花は咲きません。水や、こやしがあつてこそ。私たちは、みんながいるから元気がでるので。人を最高に輝かせるのは愛です。」
お互いに声をかけあい、感謝の気持ちを忘れずに暮らしましょう。
「嫁さんが笑った。あんなに笑った。子どもも年寄りも、家中みんな笑って、しみじみ幸せを感じた」とお年寄りが話してくれました。
みんなが笑い合える元気なまち飯山市を作って行きましょう！そして今私たち一人ひとりが持つべき、先祖からいただいた大切なタスキを、子どもたちにつかり渡ししましょう」

石田市長の活力あふれるお話に参加者は引き込まれ、会場からは「今日のよくな話をぜひ地区を回ってやってください」と要望が出されていました。

先日のテレビで、雪国の暮らしを「大変だね。かわいそうに！」というスタンスで映しているのを見ました。
けれども雪国には、おばあちゃんがひとりで豊かに生きていける暮らしのベールがあるのです。
お年寄りには、土から離れないで暮らしてきた知恵やワザがあります。
土に種をまいて食べ物を作る術を知っている。
食べ物保存する知恵を

持っている。
・真綿を紡いで機を織り針でチクチクもできる。
・いざとなったら、木片と釜で飯も炊ける。
私たちの世代は、数え上げたらきりが無いほどの手の知恵を父母や周りからもらってきました。
先祖からの土地を守り、自然に寄り添って暮らす。その当たり前前の生き様の中に人としての真実があります。

それが飯山の宝です。見守りとうど衆が「こんちわ」「達者かい」といいながら、お年寄りの家を訪ね、掘り起こし、記録に残してください。これは、本来の日本人の暮らしをするための、若い人たちへの置き土産になるのです。

ことわざによる 先人の教え

- 栄養・健康篇
- 梅はその日の難のがれ
- 味噌汁一杯三厘の力
- 空腹にまずいものなし
- 食べ物には四里四方のもの

理事会報告



平成19年3月5日(月)に理事会が開催されました。新年度の事業計画・予算案等について検討されました。3月6日の評議員会に提案され、議決されました。

理事会で検討された内容
1 評議員の選任について
2 定款の変更について
3 平成19年度の事業計画及び予算について

理事からのご意見
・介護保険事業のショートステイは、緊急時の対応として、いつでも受け入れができるようにしてほしい。
事務局からの回答

・利用希望者が多く、緊急時のために2・3床あけておくのは難しいが、栄村の特別養護老人ホームや瑞穂デイサービスにショートステイも併設することから、要望に出来るだけ応えられるようにしたいと思えます。
理事からのご意見
・瑞穂にデイサービスができるが、他の事業者のように、利用者を増やす努力をした方がよい。
事務局からの回答
・飯山市の計画に基づいて、他の事業所とも共存でき

るように、社協が担うべき利用者数が決められています。
瑞穂にデイサービスができて、各施設の利用人数が減るだけで定員は増えません。
会長より
・いかに市民のための社協になれるか。運営理念を確立することが大切です。
市長が会長職を去ります。これからは、民間としての努力が求められているのです。

平成19年度 飯山市社会福祉協議会の助成金一覧

助成事業名称	助成概要	助成金
社会福祉普及校指定事業	地域と連携した福祉活動に	1校 100,000円以内
子育てサロン開催事業	子育てサロンの開催に	1人200円 (限度額1回10,000円以内)
寄り合い所開催事業	新しい寄り合い所の開催に	1箇所 10,000円
災害時助け合いのしくみ作り事業	助け合いのしくみづくりに ・セミナー開催 ・懇談会開催 ・地域診断他	1箇所 30,000円以内
地域福祉活動	福祉基金からの助成	詳細は社協まで